

令和4年度版

新時代への羅針盤

人が集まる「人」をつくる、大学。



〒771-1192 徳島市応神町古川
Tel.088-665-1300 Fax.088-665-8037
<https://www.shikoku-u.ac.jp>

| 四 | 国 | 大 | 学 |
**教育改革
プログラム**
多様・柔軟なカリキュラムで
時代が求める質の高い教育を実現 **2020**



2020年度から 新しい教育プログラムを実施しています。

社会・経済・科学技術などの在り方が大きく変化する中で、
大学教育に期待されるのは、これからの社会を担い、
新しい時代を切り拓いて社会をリードする人材を育てることです。
四国大学では2014年度から実施してきたカリキュラムを進化させ、
新しい時代に合った「教育改革プログラム2020」を実施しています。

●教育プログラムの4つの特色

ディプロマ・ポリシーに 沿った一貫教育

大学及び各学科・専攻ごとの
ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)に
沿って、入学時から卒業までの
教育活動が一貫したものとなるよう
カリキュラムを編成しています。

教育の質の保証の ためのシステム

カリキュラムで、学生は何を学び、
身に付けることができるのか、
学んでいる学生は成長しているのか、
学修の成果は出ているのかなどを
評価するシステムを採り入れています。

新しい時代に合った カリキュラム

全学共通教育及び各学科・専攻で
新しい時代に合ったカリキュラムを
開発するとともにカリキュラムの
特色が明確になるよう
工夫しています。

アクティブラーニングの 推進

教育効果を高めるため、
アクティブラーニングなどの
学生参加型の教育を
充実させています。

●学長からのメッセージ



学長 松重 和美

グローバル化やAI(人工知能)の進展、そして国内外の政治・経済状況が大きく変化する中、大学が育成すべき人物像、提供すべき教育の内容・方法は大きく変革しています。四国大学では、「全人的自立」を建学の精神として掲げ、学生の皆さんがこれからの社会をたくましく生き、地域・社会に貢献できる力を在学中に体得できるよう、教育プログラムを策定し、2020年度から実施しています。さらに昨今のコロナ禍においては、整備された最新のICT環境のもと、適時遠隔授業を採り入れた教育を展開しています。学生の皆さんは、この「教育改革プログラム2020」のパンフレットの内容を十分に理解し、また大学が提供する学習支援やキャリア支援なども活用することにより、実社会で活躍できる知識と技能、そして実践力を修得され、社会へと羽ばたかれることを大いに期待しています。

Contents

四国大学の目指す教育改革	1
四国大学スタンダード	3
新しい全学共通教育	4
教育課程の体系化・学びの支援	7
学部・学科のカリキュラム改革	
文学部	9
□日本文学科	10
□書道文化学科	11
□国際文化学科	12
経営情報学部	13
□経営情報学科	14
□メディア情報学科	15
留学制度の充実とキャンパスの国際化	16
生活科学部	17
□人間生活科学科	18
□健康栄養学科	19
□児童学科	20
看護学部	21
□看護学科	22
短期大学部	23
□ビジネス・コミュニケーション科	24
□人間健康科 食物栄養専攻	25
□人間健康科 介護福祉専攻	26
□幼児教育保育科	27
□音楽科	28
地域教育	29
学生生活・学習支援	31
キャリアアップ支援	32
キャリア支援事業	33
教育の評価・検証	34

四国大学スタンダード

教育と学生生活を通して学生の皆さんに確実に身に付けてほしい力として、「社会人基礎力」「自己教育力」「人間・社会関係力」の3つを掲げ、これらを「四国大学スタンダード」として教育内容の開発を行いました。卒業時には、3つの力に加え、日本語による自己表現力、情報処理技術力も身に付け、社会へ出て行くことになります。

	〈スタンダードで身に付ける内容〉	〈授業科目〉
社会人基礎力	社会人として自立するために必要な基礎的・基本的な力 ① 社会人マナー ② 基礎学習力 ③ 情報活用力	社会人基礎力入門
自己教育力	自己の向上のため意欲をもって取り組む技術や方法を身に付け、社会において絶えず努力する力 ① 自己理解・省察力 ② 目標課題設定力 ③ 向上・探究する力	初年次ゼミⅡ(大学)、初年次ゼミ(短大) 学科指定科目、卒業研究 <small>4年間(短大2年間)を通じた成長をサポートするため、各学年に「自己教育力」に関する授業科目を配置しています。また、課外活動やボランティア活動もポートフォリオ上に記録し評価されます。</small>
人間・社会関係力	社会において他者と協調するとともに積極的に社会を支える力 ① コミュニケーション力 ② 対人親和力 ③ 社会貢献力	自己と社会・地域論



日本語による自己表現力	教養国語
情報処理技術力	情報処理

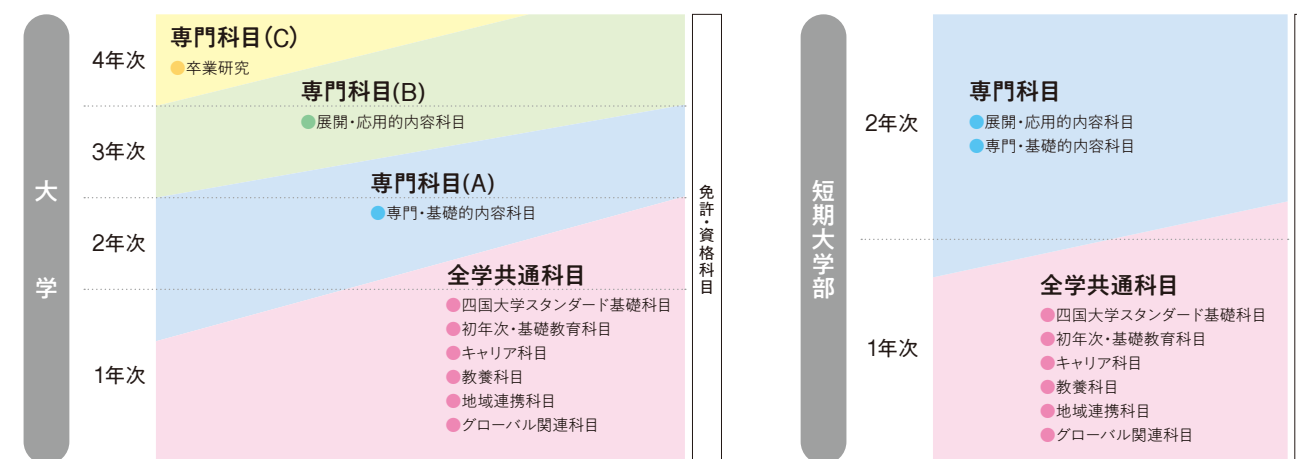


新しい全学共通教育

学生の皆さんが自らの未来を形づくり、社会を生き抜く力を身に付けるため、大学の教育課程で十分な能力、そして必要な知識・技術・技能を修得できるように全学共通教育を全面的に見直し、次のような6つの科目区分に再編しました。

科目区分	授業科目の目的・ねらい
四国大学スタンダード基礎科目	「全人的自立」を建学の精神に掲げる本学のすべての学生に、学部、学科、専攻の枠を超えて、卒業時に共通して身に付けてほしい基本的な資質・能力である「四国大学スタンダード」に関わる科目です。
初年次・基礎教育科目	入学直後に、レポートの書き方、討論、文献資料の集め方、コミュニケーションなど、大学での学習に必要な知識や技術を身に付けます。また、大学教育へスムーズに移行するために必要な基礎知識を修得する科目も配置しています。
キャリア科目	在学中に、望ましい職業観、勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けるとともに自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育て、人生を設計する力を育みます。
教養科目	高校までの学習で得た知識と大学で修得する知識を統合して、現代社会のさまざまな問題に主体的に向き合えるようになることを目指します。教養を高めるための多様な科目を開講しています。
地域連携科目	学生一人ひとりが徳島をよく知るとともに、地域の課題を発見し、解決に向けて取り組むための知識や技術を身に付けます。地域を多角的に捉えられるように幅広い分野の科目を開講しています。
グローバル関連科目	多文化社会で求められるグローバル人材の育成を目的としています。異なる言語、文化、価値観を超えてコミュニケーションを図る力を養成するために必要な外国語や文化の多様性について学ぶ科目を配置しています。

●教育課程の概念図



全学共通科目

全学共通教育の6つの科目区分ごとに配置されている授業科目一覧です。幅広い分野で深い学びが得られるよう構成しています。科目には、必ず受講して単位を修得しなければならない「必修科目」と自分で興味関心のある授業を選んで受講できる「選択科目」があります。

●全学共通科目一覧

四国大学

科目区分	授業科目	必修科目 単位数	選択科目 単位数
スタンダード 基礎科目	社会人基礎力入門	2	
	自己と社会・地域論	2	
	教養国語	2	
	情報処理		2
初年次・基礎 教育科目	初年次ゼミI	2	
	初年次ゼミII	2	
	大学入門	2	
	数学基礎		2
	物理学基礎		2
キャリア 科目	化学基礎		2
	生物学基礎		2
	キャリア開発		2
	インターンシップ		2
	キャリア形成入門	2	
人文科学	キャリア形成実践		2
	徳島の魅力、徳島で働く※		2
	言語と文化		2
	心理学入門		2
	日本の歴史と思想		2
	西洋の歴史と思想		2
	東洋の歴史と思想		2
	ヨーロッパ・アメリカ研究		2
	現代の新たな文化		2
	日本国憲法		2
社会科学	世界の中の日本経済		2
	現代社会と人権		2
	AI・データサイエンス入門		2
	AIで変わる社会		2
自然科学	自然科学の進歩		2
	環境と人間		2
	生命と倫理		2
健康科学	健康と科学		2
	健康スポーツ		2
	スポーツ科学		2
地域連携 科目	地域未来探求		2
	地域創生入門		2
	徳島の歴史と文化		2
	四国いやしの道		2
	災害と防災		2
	消費者市民社会		2
グローバル 関連科目	英語I	2	
	英語II	2	
	英語コミュニケーション		2
	キャリア英語(英検)		2
	キャリア英語(TOEIC)		2
	中国語I		2
	中国語II		2
	中国語III		2
	中国語IV		2
	中国語V(DDP)		2
中国語VI(DDP)		2	
韓国語I		2	
韓国語II		2	
フランス文化と言語		2	
ドイツ文化と言語		2	
多文化共生入門		2	
計		18	94

※は、徳島県内の大学間協同科目を示します。

四国大学短期大学部

科目区分	授業科目	必修科目 単位数	選択科目 単位数	
スタンダード 基礎科目	社会人基礎力入門	2		
	自己と社会・地域論	2		
	情報処理		2	
初年次・ 基礎教育 科目	初年次ゼミ	2		
	キャリア開発		2	
キャリア 科目	インターンシップ		1	
	キャリア形成入門	2		
	キャリア形成実践		2	
	徳島の魅力、徳島で働く※		2	
人文科学	言語と文化		2	
	心理学入門		2	
	日本の歴史と思想		2	
	西洋の歴史と思想		2	
	東洋の歴史と思想		2	
	ヨーロッパ・アメリカ研究		2	
	現代の新たな文化		2	
	日本国憲法		2	
	世界の中の日本経済		2	
	現代社会と人権		2	
AI・データサイエンス入門		2		
AIで変わる社会		2		
自然科学	自然科学の進歩		2	
	環境と人間		2	
	生命と倫理		2	
健康科学	健康と科学		2	
	健康スポーツ		2	
	スポーツ科学		2	
地域連携 科目	地域未来探求		2	
	地域創生入門		2	
	徳島の歴史と文化		2	
	四国いやしの道		2	
	災害と防災		2	
	消費者市民社会		2	
グローバル 関連科目	実用英語		2	
	中国語I		2	
	中国語II		2	
	韓国語I		2	
	韓国語II		2	
	フランス文化と言語		2	
	ドイツ文化と言語		2	
	多文化共生入門 計		2	
	計		8	73

主な授業科目

全学共通教育の科目区分の中から代表的な科目、特徴ある科目をピックアップして紹介します。各授業とも目標を明確にし、学生一人ひとりがその目標にしっかりと到達することができる授業内容となっています。

科目区分	授業科目	概要
スタンダード 基礎科目	社会人基礎力入門	卒業時に社会人として自立するために必要な基礎的・基本的な力(基礎学習力、社会人マナー、情報リテラシー)などを身に付けます。
初年次・基礎 教育科目	初年次ゼミI・II	「初年次ゼミI」では大学での学びに欠くことのできない論文・レポートの書き方を中心に学びます。「初年次ゼミII」ではプレゼンテーションやディベート、ディスカッションなどを通してコミュニケーション能力を高めることを目指します。
キャリア 科目	キャリア形成入門	社会人・職業人として自立を図るために必要な知識を学びます。自分自身について知るとともに、「働く」とはどういうことかを理解し、最終的には自らの将来のキャリアデザインを描くことを目指します。
教養科目	AIで変わる社会	これからの社会は、AI(人工知能)やロボットなどの進展で大きく変化することが予想されます。そうした社会に適切に対応するために、AIに関する基礎知識と応用分野での活用の仕組みと技術を学びます。
地域連携 科目	災害と防災	我が国は地震大国です。近い未来に起こることが予想されている災害に向け、その現象と対応策を学びます。さまざまな視点からの事例とシミュレーションを通して、災害への備えができることを目指します。
	地域創生入門	徳島には、私たちがまだ知らない魅力がたくさんあります。徳島の自然環境、観光、産業、働き方などの学びを通じて新たな面を発見し、未来に向かって広がる徳島の可能性について多角的に考えていきます。
グローバル 関連科目	英語I・II	四国大学オリジナルテキストを用いて、大学の歴史やイベント、長期休暇の過ごし方など、学生生活に密着した話題を通して英語を学びます。語学力の向上はもちろんのこと、各々が設定した目標に向かって学習ができる「自立した学習者」の育成を目的としています。
	多文化共生入門	ヨーロッパ、オセアニア、アジア地域の社会や文化をトピックとし、多文化と共生することについて考えます。外国人教員と日本人教員の異なる視点から、異文化を理解しようとする姿勢や多文化共生社会における課題について紹介します。



教育課程の体系化・学びの支援

各学科・専攻が設定するディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)に基づいてそれぞれの科目をどのように関連させ、学修していくのかを体系的に示した「カリキュラムマップ」及び「カリキュラムツリー」を作成し、カリキュラムの全体像を学生の皆さんが容易に見ることができるようにしています。

●カリキュラムマップ

経営情報学部経営情報学科 公共・地域経営コース

区分	1年				2年				3年			
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
全学共通科目	社会人基礎力入門	2	自己と社会・地域	2								
	英語基礎	2										
	初年次ゼミⅠ	2	初年次ゼミⅡ	2								
	大学入門	2	キャリア形成入門	2								
	英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2								
	選択科目	2	選択科目	2	選択科目	2	選択科目	2	選択科目	2	選択科目	2
経営	経営学概論Ⅰ	2	経営学概論Ⅱ	2	経営学概論	2	経営学概論	2	経営学Ⅰ(基礎)	2	経営学Ⅱ(基礎)	2
					経営史	2	経営戦略論	2	経営科学Ⅰ(基礎)	2	経営科学Ⅱ(基礎)	2
会計	簿記Ⅰ	2	簿記Ⅱ	2								
流通・マーケティング	商学概論	2	流通論	2								
専門科目			公共・地域経営	2	マクロ経済学	2	マクロ経済学	2	民法	2	地方自治論	2
					財政学	2	行政学	2	経済政策論	2	地域政策論	2
					行政学	2	行政学	2	経済政策論	2	地域政策論	2
					憲法	2	政治学(基礎)	2				

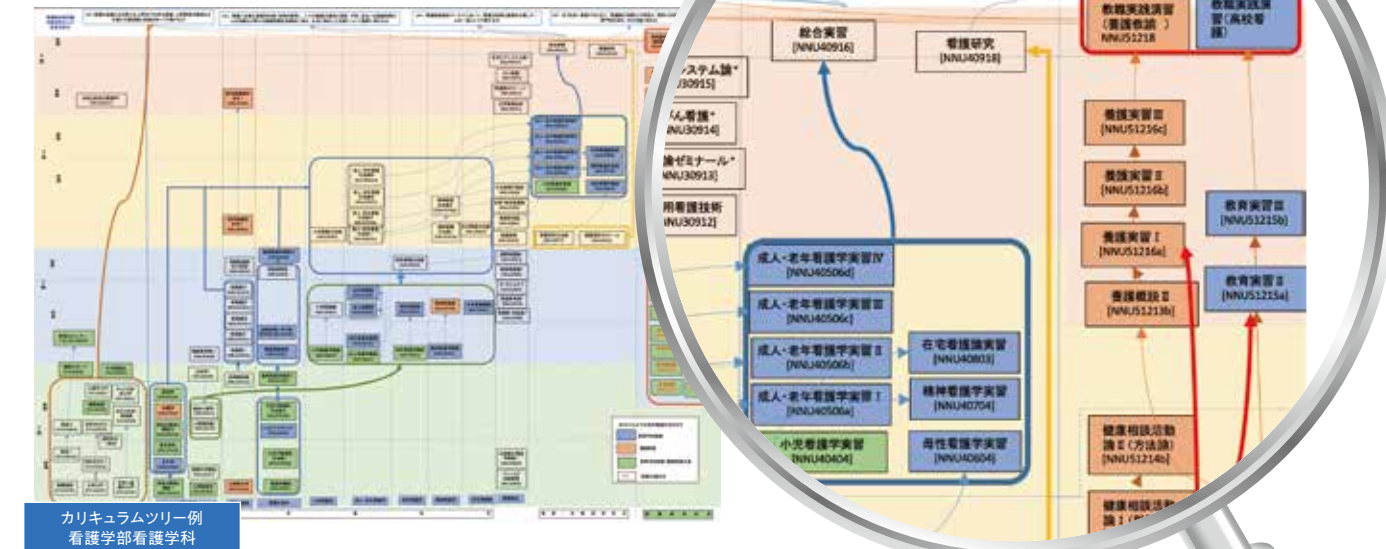
カリキュラムマップ例
経営情報学部経営情報学科

「カリキュラムマップ」とは、授業科目と教育目標の関係を示した表のことです。ディプロマ・ポリシーに基づいて各授業科目が卒業までに身に付けるべき能力のどの項目と関連しているのかを示しています。



●カリキュラムツリー

「カリキュラムツリー」は、関連する科目を線で結んだり、学修の順序を示したりするなど、科目間の系統性を図示しています。



●科目ナンバリング

科目ナンバリングとは、授業科目の学問分野と学修段階(レベル)が分かるように各授業科目に番号を付して分類したものです。教育課程を体系化することで、授業の難易度や専門性に応じて履修計画を立てやすくしています。本学では、カリキュラム実施主体を示すアルファベットと科目の段階(レベル)を示す数字を組み合わせて、8桁で示しています。

科目ナンバリングの体系

本学のナンバリングコードは、カリキュラムの基本となる全学共通科目と各学科・専攻の専門科目及び免許資格科目等で構成されています。

A B C 1 2 3 4 5
① ② ③ ④

- ① 大分類コード：カリキュラムの実施主体(全学共通教育センター・各学部、学科・専攻)
- ② レベルコード：授業のレベル
10000番台：全学共通科目(1年次配当科目)
20000番台：全学共通科目(2年次以上配当科目)、学科等専門科目(基礎的な内容の科目)
30000番台：学科等専門科目(発展的な内容の科目)
40000番台：学科等専門科目(卒業論文・卒業研究関連科目)
50000番台：免許資格関係等の科目
- ③ 中分類コード：学問分野
- ④ 小分類コード：個別の科目

●ルーブリック

ルーブリックとは、授業やカリキュラムで求められている到達目標をどのように達成できているかを学生自身が確認できる評価ツールです。何を学習するかや到達度のレベルが示されているため、学習の際の目標や目安とすることができるだけでなく、筆記試験だけでは測れないレポートやプレゼンテーション、実習などのパフォーマンス課題を評価することもできます。また、自己評価を行うだけでなく、他の人のレポートやプレゼンテーションの評価者となってルーブリックを活用する場合もあります。

【ルーブリックの例】 科目名：社会人基礎力入門

[目的・ねらい又は到達目標] 読み書きなどの基本スキルから、社会人マナー、現代社会における情報の意義とそれを活かす力を身に付けられたか。

	項目	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
知識・理解	基礎学力	読む力、書く力、聞く力の重要性をよく理解している。実践力も十分にある。	読む力、書く力、聞く力の重要性をある程度理解している。実践力はある程度ある。	読む力、書く力、聞く力の重要性をあまり理解しておらず、実践力も不十分である。	読む力、書く力、聞く力の重要性を全く理解していない。実践力もほとんどない。
	社会人マナー	身だしなみ、礼儀、態度、敬語の基本、言葉づかい、接遇についてよく理解し、実践力もある。	身だしなみ、礼儀、態度、敬語の基本、言葉づかい、接遇についてある程度理解し、実践力もある程度ある。	身だしなみ、礼儀、態度、敬語の理解が不十分で、実践力も不十分である。	身だしなみ、礼儀、態度、敬語の基本、言葉づかい、接遇について全く理解しておらず、実践力もほとんどない。
	情報リテラシーと活用力	情報化社会についてと情報活用力及びサイバー犯罪への対処についてよく理解しており、それらが十分実践できている。	情報化社会についてと情報活用力及びサイバー犯罪への対処についてある程度理解しており、それらがある程度実践できている。	情報化社会についてと情報活用力及びサイバー犯罪への対処について理解は十分でなく、それらの実践も不十分である。	情報化社会についてと情報活用力及びサイバー犯罪への対処について全く理解しておらず、ほとんど実践できていない。
態度・志向性	振り返りシート	今回の授業のねらいについてのすべての項目で適切な内容で詳しく記述できている。	すべての項目で適切な内容だが量的にやや不十分である。	質的に不十分。	提出したが、記述が著しく乏しい。あるいは提出なし。
	学習態度	熱心な態度で積極的に発言している。	特に印象的でないが妥当な学習態度である。	授業に参加している態度が不十分である。	終始授業に参加していない。寝ている。欠席など。

●アクティブラーニング

アクティブラーニングとは、学生自身が課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ能動的学習法のことです。グループディスカッションやディベート、グループワークなど、学生が主体となって関わり、学びを深めることで認知的、倫理的、社会的、教養、知識、経験等の能力を育むことができます。





文学部

Faculty of Literature

□日本文学科 □書道文化学科 □国際文化学科

「ことば」や「表現すること」についての知識や能力を培い、それを自分の人生に活かし、社会で活躍・貢献できる人材を育成します。

Change!

改革の
ポイント

日本や外国の文学・文化をグローバルな視点で見つめ、「ことば」や「書」を通じて主体的に発信する力を身に付けます。

1. ディプロマ・ポリシーを達成するためのカリキュラム

1・2年次では徹底した基礎固めの学修を行い、専門分野への学びに備えます。続く専門研究の段階で各々の関心や得意分野に沿って選んだコースに配置された多彩な授業で、より高度な知識や技能の修得を目指します。

2. 社会が求める内容に則したカリキュラム

文学部では3学科共通の「日本語教員養成課程」を開設しています。各学科での学びを深めながら、外国人に日本語を教えるプロを養成します。また、学部共通科目の「ことば・文化・人間」では、学際的な視点で社会や地域に対応・貢献していくための人間力を養います。

3. キャリア教育を重視したカリキュラム

「アナウンス朗読法」「デザイン書道」「ホテル&ツーリズム」など、それぞれのキャリアプランに沿えるような実践的科目を多数開設しています。また教員免許や各種資格試験に対応する実学的科目も取り揃えています。

4. 学生の理解が進む教育内容・方法

「ことば」に関するスキルを高めながら、文章表現やプレゼンテーションのトレーニングを重ねていきます。一人ひとりの理解を深めるためにアクティブラーニングの手法を積極的に取り入れ、ルーブリックなどを活用した授業を展開しています。

日本文学科

日本の文学・文化・歴史に関する専門知識とグローバルな視野に立った幅広い教養を身に付け、国語教育と地域文化の振興に貢献するとともに自ら表現し発信できる人材を養成します。

文学部

Change!

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

- 文章表現能力の育成を第一に考え、1年次から少人数のゼミ形式で文章作法の基本を学び、社会に通用する十分な文章力を培います。
- パソコンを用いた日本語情報処理能力や演習科目を通して自らの言葉で発信するプレゼンテーション力を高め、社会人として必要な力を身に付けます。
- 自らの資質や特性を理解し、教員・司書・博物館学芸員等自分にあった免許資格の取得を目指すカリキュラムとなっています。
- 国語科教員を目指す学生のため、教材研究や指導法を学ぶ授業も充実しています。

ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

- 1年次で日本の文学・歴史・文化の基礎を学びます。
- 2年次以降、日本文学コース・日本文化史コースに分かれ、各分野の専門知識を深めるとともに演習科目等によって思考力・考察力を育てます。
- 3年次には、少人数のゼミ形式で高度な研究方法を学び、自ら調査し、それをまとめる力を高めます。
- 4年次では、卒業研究においてこれまでの学びの集大成を発揮するカリキュラムになっています。

学びの特色ある取組

- 「文学・文化史横断科目」を設置し、グローバル・地域教育・現代文化という観点から、日本の文学と歴史・文化を多角的に学ぶことで、幅広い教養を身に付けます。
- 実際に地域の図書館や寺社などに赴き、文化財の調査を行います。これにより地域の文化を掘り起こすと同時に、地域振興にも寄与します。
- 「日本語教員養成課程」を開設し、国内外で活躍できる日本の文学、文化や歴史に関する知識豊かな日本語教員を養成します。
- 図書館司書や学校図書館司書教諭に加え、職員という立場から学校図書館と児童、生徒、教職員をつなぐ学校司書を養成します。

4年間の学びの流れ

1年次

基礎学力と文章力の育成

2年次

研究、創作の方法論を修得

3年次

課題探究と実践

4年次

学びのまとめ卒業論文の作成

取得できる
免許・資格

- 高等学校教諭一種免許状(国語)
- 高等学校教諭一種免許状(書道)
- 中学校教諭一種免許状(国語)

- 図書館司書資格
- 学校図書館司書教諭資格
- 学校司書資格[四国大学認定資格]

- 博物館学芸員資格
- 日本語教員資格



国際文化学科

英語圏を中心に世界の文化・文学・歴史について豊かな知識を持ち、円滑なコミュニケーションができる実践的な英語力を身に付け、地域社会に貢献できる人材を養成します。

Change!

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

- 1・2年次では、学科独自の基礎科目「基礎ゼミナールI~IV」で、グローバルな視点で世界の文化・文学・歴史を理解するために必要な基本的知識を身に付けます。
- 習熟度別の少人数クラスで英語運用能力を強化します。
- 自分の関心や進路に合わせて国際文化コースと英語コミュニケーションコースを選択し、キャリアデザインに沿った科目で社会性・専門性を高めます。
- プレゼンテーションやディスカッションで、自らの考えを主体的に発信していきます。

ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

- 変化する国際社会の動向を把握し、世界の多様な文化についての知識を持ちながら、国際交流を促進していく力を培います。
- 円滑なコミュニケーションが図れるよう、英語による情報を正しく理解し、日本や地域の文化を豊かに表現し発信することができる英語力を身に付けます。
- 国際社会や異文化を理解するための知識や実践的な英語力を身に付け、国内外や地域社会において貢献する力を養います。

学びの特色ある取組

- 「民族とジェンダー」や「マイノリティと表象」など今日的な課題を取り入れた授業を展開します。
- 日本航空株式会社との連携により開講する科目「ホテル&ツーリズム」において、実践的な授業を展開することでキャリア教育の充実を図ります。
- 「日本語教員養成課程」を開設し、英語によるコミュニケーション能力を活かした国内外で活躍できる日本語教員を養成します。
- 「留学前教育」を科目として開設し、台湾の銘傳大学で語学研修を行います。また、「トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム」に多くの学生を派遣しています。
- オーストラリア・サザンクロス大学との協定により、4年間で2つの大学の学位が取得できるDDP(ダブルディグリープログラム)を実施します。

4年間の学びの流れ



取得できる 免許・資格

- 高等学校教諭一種免許状(英語)
- 中学校教諭一種免許状(英語)
- 学校図書館司書教諭資格
- 小学校英語指導者[四国大学認定資格]
- 日本語教員資格



書道文化学科

書道文化に関する専門知識と技能を身に付け、書家や書道教員・塾経営者として、また、グローバルな視点を持って書を社会に発信できる人材を育成します。

Change!

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

- 確かな書の技能を高めるとともに書の歴史的背景や価値を見出す力を養い、より高度な表現力を育成します。
- 国際的視野で書道文化を見つめ、その魅力を国内だけにとどまらず、世界へと発信するための方法を学びます。
- 教員・司書・博物館学芸員等の免許資格の取得だけでなく、書道を他の分野と融合させることで、常識にとらわれない新たな可能性を発掘する力を身に付けます。
- 書道科教員を目指す学生のため、教材研究や指導法を学ぶ授業も充実しています。

ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

- 1年次で、漢字・仮名・篆刻の基礎と書道史を学びます。
- 2年次からは、基礎をさらに発展させながら「創作」や「アート書道」などの授業を通して豊かな表現力や創造力を養います。
- 3年次では、少人数によるゼミの中で研究課題を見つけ、書の深化と広がり求め充実させていきます。
- 4年次では、集大成となる卒業研究の中で作品制作と論文を仕上げ、今後の可能性につなげていきます。

学びの特色ある取組

- 1~3年生が参加する夏季錬成会や各行事において、学年の枠を超えた交流を行い、互いに研鑽し合う場を多く設けています。また、学外研修(奈良・京都・徳島県内)では、美術品や古筆、製墨・製筆法の見学等により互いに知識を深め、鑑賞眼を高めます。
- 展覧会での作品発表のほか、学外のイベントに参画し、書道パフォーマンスや学生主体の書道講座など地域社会に貢献する活動を推進しています。
- VR書道など最新技術を用いた表現にも挑戦しています。
- 学修の成果として「全国高校生・大学生書道展」において毎年優秀な成績を取っています。
- 「日本語教員養成課程」を開設し、書の指導だけでなく、書道文化の専門知識豊かな国内外で活躍できる特色ある日本語教員を養成します。
- 図書館司書や学校図書館司書教諭に加え、職員という立場から学校図書館と児童・生徒・教職員をつなぐ学校司書を養成します。

4年間の学びの流れ



取得できる 免許・資格

- 高等学校教諭一種免許状(書道)
- 高等学校教諭一種免許状(国語)
- 中学校教諭一種免許状(国語)
- 図書館司書資格
- 学校図書館司書教諭資格
- 学校司書資格[四国大学認定資格]
- 博物館学芸員資格
- 日本語教員資格





経営情報学部

Faculty of Management and Information Science

経営情報学科 メディア情報学科

地域と連携した人材育成を基本に
「夢実現ロードマップ・プログラム」を中心とした面倒見のよい教育指導により、
高い情報技術や広い視野を持って企業、地域社会で活躍できる人材を養成します。

Change!

改革の
ポイント

社会で必要とされる実践的なノウハウと
経験を積み重ねることで、課題解決のための
スキル習得を目指します。

1. ディプロマ・ポリシーを達成するためのカリキュラム

社会人基礎力と専門性を高めるための基礎科目を学び、次に専門性を広げ社会との関りを深めるための実践的な演習等の専門科目を履修、4年間の総まとめと各自のテーマに沿った卒業研究を仕上げるなど学年を追って専門科目を用意しています。

2. 社会が求める内容に則したカリキュラム

政府が進める第5の新たな社会革新(Society 5.0)に対応するため「AI応用人材育成プログラム」を開発し、AIを活用したビジネス、地域経営等、幅広い分野でその担い手として活躍できる人材を育成します。

3. キャリア教育を重視したカリキュラム

将来の夢(目標)の実現に向けて「夢実現ロードマップ・プログラム」を実施しています。1年次から始まるゼミ活動の中で夢(目標)を設定し、それを実現するための計画書を作成して各手順を実行し、結果を振り返り次の行動に活かします。これを繰り返すことで、その実現に近づけていきます。

4. 学生の理解が進む教育内容・方法

コミュニティビジネスの先駆けである徳島県の山間地域にある上勝町の葉っぱビジネスを学ぶ「いろいろ研修」、学生各自が希望する企業等の現場を見学する「企業見学」、県内の経営者の講義と課題解決に取り組む「経営者論(社長塾)」など、現場での実践を通じて学ぶことを基本としています。

経営情報学科

企業経営・公共経営の専門知識と情報処理能力を兼ね備え、
課題の発見と解決方法を導き出し実践できる人材を育てるとともに
グローバル化に対応する幅広い視野を持った人材を養成します。

Change!

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

地域産業の現場視察、企業見学、経営者論(社長塾)などを通じて、企業や地方自治体を取り巻く環境について理解を深めるとともに現場で活かすことができる実践的なノウハウと経験を積み重ねます。これにより、企業人や公務員など多様な分野の第一線で活躍できる人材を養成します。

ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

企業経営、流通・マーケティング、スポーツビジネス、公共経営の各分野において、経営学、金融、会計、マーケティング、労務管理や経済、社会、法律、地方自治、財政など、現代のビジネスシーンや地域社会に必要な組織マネジメントやリーダーシップに求められる知識と技術を学びます。

学びの特色ある取組

- 1年次に学生全員が少人数のゼミに所属することにより、担当教員による親身な指導のもと、楽しく安心して学生生活を送ることができます。
- 2年次から、ビジネス経営、流通マネジメント、公共・地域経営、スポーツビジネス各コースの専門ゼミに所属し、それぞれのコースのカリキュラムマップに沿って学修します。
- 専門科目や対策講座を受講することにより、簿記や販売士など就職に有利な資格の取得に向けて充実したサポートが受けられます。
- 地域連携によるさまざまな取り組みに加え、中国・湖南省にある湘潭大学との協定により4年間で2つの大学の学位が取得できるDDP(ダブルディグリープログラム)を実施し、国際ビジネス社会で活躍できる人材を養成します。
- 公務員採用試験の合格に向けてサポートするCCP(地域創生人材育成プログラム)により、地域に貢献できる人材を養成します。
- AI応用人材育成プログラムにより、AIを活用したビジネスの担い手となる人材を養成します。

4年間の学びの流れ

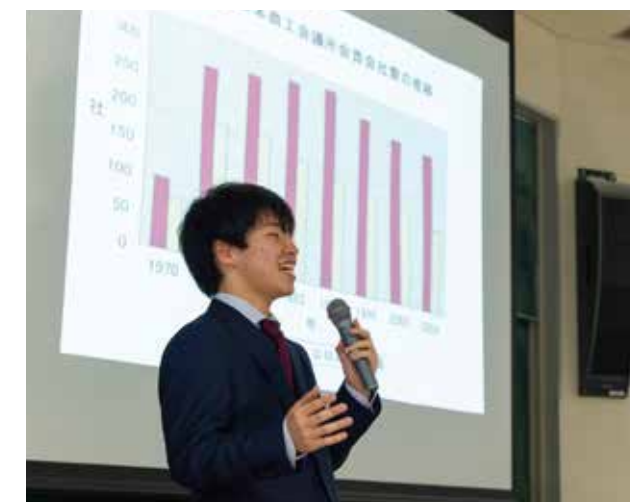


取得できる
免許・資格

- 高等学校教諭一種免許状(商業)
- 高等学校教諭一種免許状(情報)

[取得をサポートしている検定等]

- 日商簿記検定
- 宅地建物取引士(宅建士)
- 販売士検定
- 日商PC検定



メディア情報学科

経営と情報の両分野の知識を身に付け、ビジネスと情報テクノロジーを結び付けた新時代に適合するサービス・コンテンツの創造やシステム開発、運用する力を養い、企業や地域社会で活躍できる人材を養成します。

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

- コンピュータとネットワーク、eビジネスに関する基礎を理解し、デジタル技術がビジネスや地域社会にどのように関わっているか、さらにその発展に活かすための知識と方法を学びます。
- 演習や実習を通してeビジネスの活用方法、映像表現やシステムデザインの基礎技術を身に付けるとともにプロジェクト演習を通して、地域社会の課題解決ができるスキルを実践的に修得します。

ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

- eビジネスコースでは、人々や地域社会の要望・課題を把握するニーズ分析、Webマーケティングをはじめとするeビジネスの活用方法を学びます。
- メディアデザインコースでは、人の想いをカタチにするアプリや映像などのコンテンツ制作について学びます。
- 情報システムコースでは、安定・効果的に発信するシステム開発、ネットワーク構築・管理の技術と知識を学びます。
- すべてのコースで得た知識と技術をもとに問題発見力・問題解決力を身に付けます。

学びの特色ある取組

経営情報学部では、AIを活用したビジネスとその技術分野の担い手として活躍できる人材の育成を目指し「AI応用人材育成プログラム」を開設します。メディア情報学科では、AIを用いたプログラミングやシステム構築技術を修得するための科目を新設しました。さらにVR技術に関する教育・研究として、映像やゲームをはじめとするコンテンツ制作、満足度の高いユーザー体験の研究、社会におけるVRの応用可能性の提案などにも取り組んでいきます。また、経営情報学科と同様に中国・湘潭大学とのDDP(ダブルディグリープログラム)を実施し、国際ビジネス社会で活躍できる人材の養成も行っています。

4年間の学びの流れ



取得できる免許・資格

- 高等学校教諭一種免許状(商業)
- 高等学校教諭一種免許状(情報)
- 上級情報処理士
- 上級ビジネス実務士
- プレゼンテーション実務士
- ウェブデザイン実務士

[取得をサポートしている検定等]

- 映像音響処理技術者資格認定試験
- 各種マイクロソフト認定資格
- 日本語ワープロ検定
- CCNA
- 基本情報技術者
- 情報処理技能検定
- ITパスポート試験
- 簿記検定
- 文書デザイン検定



留学制度の充実とキャンパスの国際化

充実した海外留学プログラムと国際交流の機会を提供し、真の国際人を養成します。

● 充実した多彩な留学プログラム

ダブルディグリープログラム(DDP)・交換留学・長期留学・短期留学・短期研修など様々なプログラムによる留学が可能です。

※ダブルディグリープログラム(DDP)とは、四国大学に在籍したまま留学し、それぞれの大学の卒業要件を満たせば4年間で双方の大学の学位が取得できる制度です。四国大学は中国の湘潭大学とオーストラリアのサザンクロス大学と本協定を締結しています。

大学名	対象学科	留学期間	留学支援
湘潭大学	経営情報学科/メディア情報学科	18ヶ月	奨学金支給
サザンクロス大学	国際文化学科	約8ヶ月	奨学金支給

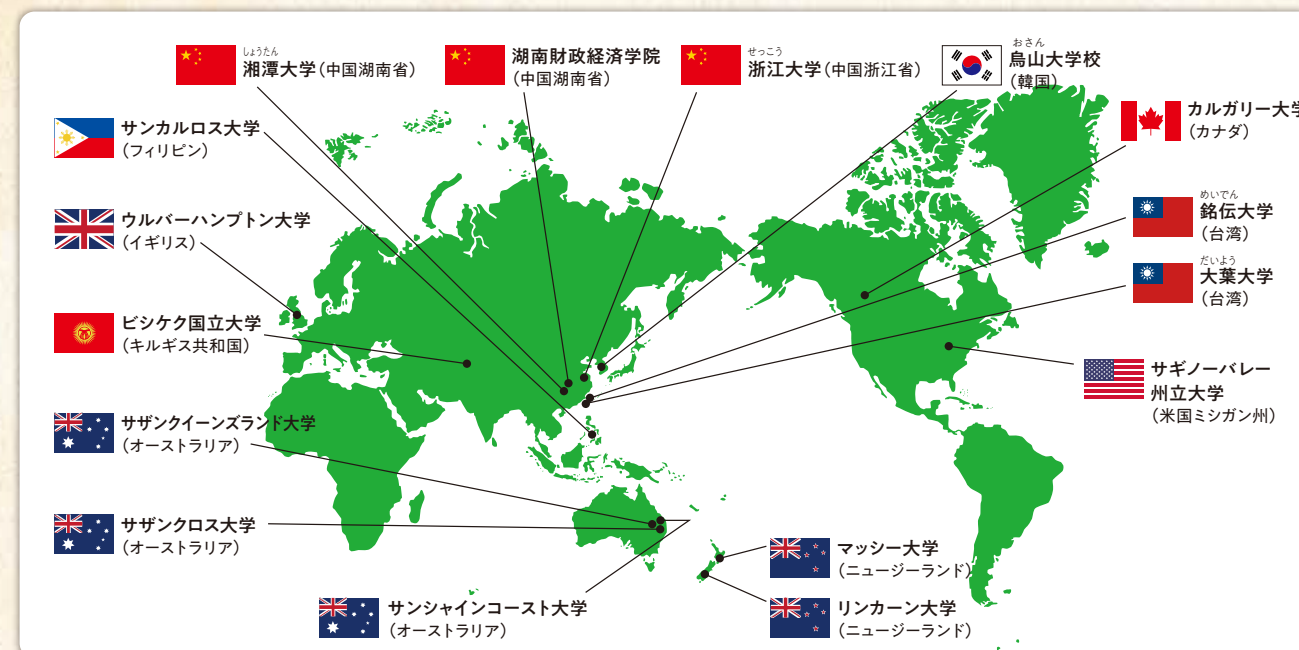


湘潭大学(中国湖南省)



サザンクロス大学(オーストラリア)

● 協定大学拡大中! 世界10カ国に16の協定大学があり、留学の機会を充実させています。



● 充実した留学支援

1. 交換留学生給付金、長期留学生給付金、留学生貸与金などで留学の支援を行っています。
2. ワーキングホリデー、海外インターンシップ等、学生のニーズに沿った留学の相談とサポートを行っています。



● キャンパスの国際化

四国大学では、世界8カ国から162名の留学生を受け入れており、国際色豊かなキャンパスとなっています。

進むキャンパスの国際化 正規外国人学生 162人 (2021年度)

ベトナム...95人	インドネシア...8人	スイス...1人
中国...36人	バングラデシュ...5人	ブータン...1人
ネパール...14人	インド...2人	





生活科学部

Faculty of Human Life Science

- 人間生活科学科 健康栄養学科 児童学科

Society5.0の実現に向け、現代の生活を科学的な視点で分析・研究して質の高い生活を創造し、新しい時代を切り拓いて社会をリードする人材を育てます。

Change!

改革のポイント

質の高い生活の創造に資する資格や学習内容の充実と地域貢献を軸とした実践力の向上を目指します。

- ディプロマ・ポリシーを達成するためのカリキュラム**
人間生活科学科において、養護保健学の科目区分を設けたほか、デザイン分野には、3Dに加えてVRアートを取り入れています。健康栄養学科では、食と健康に関連した栄養マネジメント、スポーツ栄養、フードデザインの3コースを設定し特色ある学びを展開します。
- 社会が求める内容に則したカリキュラム**
人間生活科学科では博物館学芸員や公認心理師、消費者教育に、健康栄養学科では、多様なニーズに対応できる栄養士・管理栄養士のほか、スポーツ栄養や商品開発などに、児童学科では小学校英語教育やプログラミング教育、認定絵本士の資格取得に対応しています。
- キャリア教育を重視したカリキュラム**
人間生活科学科の保健室ボランティアや二科展等のコンテストの応募支援のほか、健康栄養学科の「教えて先輩 管理栄養士の仕事」や児童学科の「徳島乳幼児・児童教育実践研究大会」など、卒業生や社会の第一線で活躍する方々を招いての学習会や研究会を開催しています。
- 学生の理解が進む教育内容・方法**
各学科の特徴に応じて、数多くの実習やボランティア、コンテストへの参加の機会を設け、授業で学んだ知識・技能の実践の場を用意しています。また、学びながら考えるアクティブラーニングの手法を多くの授業で取り入れています。

人間生活科学科

教育・保健医療現場や企業・地域社会で必要な生活科学領域の専門知識と技術を身に付け、人や社会をとりまく諸活動を総合的に捉え、創造的で質の高い環境作りを行うことのできる人材を育成します。

Change!

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

- 公認心理師、心理・養護、デザインの各コースでは職業に直結する免許・資格の取得をサポートします。
- 理論を实践に活かす演習・実習が充実しています。
- 心理学ではじめての国家資格である公認心理師、養護教諭を目指す心理・養護、イラスト・アート表現さらに藍などのデザインに関する分野を用意し、将来の目標に合わせてコースの垣根を超えたカリキュラムをつくることができます。

ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

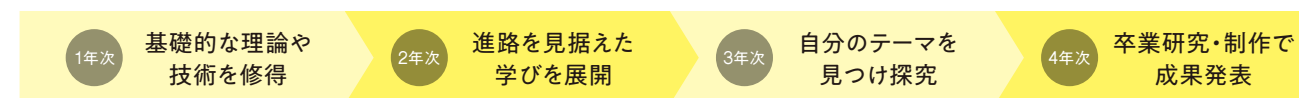
- 公認心理師コースでは、心理学やカウンセリングに関する専門的な知識を身に付け、将来、公認心理師として学校や保健医療現場などの実社会において対人支援する力を育てます。
- 心理・養護コースでは、心理学や養護保健に関する専門的な知識を身に付け、学校現場で教育に携わる力を育てます。
- デザインコースでは、多様な生活文化とデザインに関する専門的な知識を身に付け、質の高い生活を創造する力を育てます。



学びの特色ある取組

- 「人と人」「人とモノ」の関係を通じて、生活領域の理解を深め、社会人基礎力を養います。
- 公認心理師コースでは、国家資格である公認心理師の取得を目指して、必修25科目を学ぶ中で、心理学の基礎知識やスキルを4年間でしっかりと修得するとともに鳴門教育大学大学院と連携して、6年一貫の教育プログラムを展開します。
- 心理・養護コースでは、心理学を学ぶとともに養護教諭を目指す学生に認定課程である看護学科と連携し、科目履修をすることにより免許取得ができるようサポートしています。
- デザインコースでは、地域や社会の課題やニーズを敏感に捉え、デザインの力で問題解決を目指す実践活動に力を入れています。企業連携やフィールド研究などを通じて社会性、コミュニケーションスキルも磨きます。また、博物館学芸員の資格取得を目指すことも可能です。
- 「お客様対応専門員(CAP)」「消費生活アドバイザー」の資格取得に結びついた「消費者教育プログラム」を用意し、全学共通科目、専門科目及び特別対策講座で体系的に学ぶことができます。

4年間の学びの流れ



取得できる免許・資格

- 認定心理士(3コース共通)
- 公認心理師国家試験受験資格(公認心理師コース)
(学部教育に加え大学院教育または現場での経験が必要です。)
- 養護教諭一種免許状(心理・養護コース)
- 博物館学芸員資格(デザインコース)
- 食育スペシャリスト[四国大学認定資格]

[取得をサポートしている資格]

- 心理学検定
- Illustratorクリエイター能力認定試験・スタンダード
- Photoshopクリエイター能力認定試験・スタンダード
- Webクリエイター能力認定試験・スタンダード
- Microsoft PowerPointプレゼンテーション技能認定試験・初級
- 消費生活アドバイザー ● お客様対応専門員(CAP)

児童学科

子どもを理解し、教育・保育に関する知識と技術の学びから、豊かな人間性と実践的指導力を備えた小学校・幼稚園教諭、保育士、保育教諭として活躍する人材を養成します。

Change!

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

- 社会人としてのマナーやコミュニケーション力、表現力を身に付け、使命感や責任感をもって教育や保育に携わる力を養います。
- 教育者・保育者として学び続け、他者との協働によって課題を解決するために情報収集し、分析する力を培います。
- 教育・保育に関する豊かな専門知識と技術を身に付け、子どもを理解し実践的に指導する力を育みます。
- 自己研鑽しながら成長していく豊かな人間性を身に付け、教育や子育て支援・福祉を通じて地域社会に貢献する力を育成します。

ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

- 1年次では、全学共通科目により社会人基礎力や人間・社会関係力を養いつつ、小学校・幼稚園教諭及び保育士、保育教諭に必要な基礎的知識と技能を身に付けるとともに、ボランティアとして保育の現場を体験します。
- 2年次では、小学校教諭を目指す**児童教育コース**と幼稚園教諭や保育士、保育教諭を目指す**保育学コース**において教育・保育に関する基礎的理論や教科・領域の専門的知識と技能を修得します。また、保育学コースでは、観察参加実習を通じて基礎的な実践的指導力を身に付けます。
- 3年次では、各教科・領域の指導法を学修するとともに、教育・保育の現場での実習及び学習ボランティアや子育て支援ボランティアを通じて実践的指導力を身に付けます。
- 4年次では、卒業研究や教職・保育実践演習を通じて、コミュニケーション力、情報収集や分析力、表現力を養うとともに、教育実習やゼミ活動で実践的指導力を高めます。



学びの特色ある取組

- 学科主催の「遊びと学びのフェスティバル」や学習・保育支援ボランティアなど実践的な学びを重視しています。
- 現代の教育・保育課題に対する自らの意見を持つための集団討論の科目を設置しています。
- 小学校・幼稚園・保育所の現場の先生による研究成果や卒業生の現場での実践の様子を知ることのできる「徳島乳幼児・児童教育実践研究大会」を通じ、教育・保育の最前線を学びます。
- 「認定給本土養成講座」では、絵本に関する知識や技能、豊かな感性を身に付け、絵本に関する専門性を養います。
- 小学校英語に関する知識・技能を身に付け、「**小学校英語指導者**」(四国大学認定資格)として指導力の向上を図ります。
- 小学校でプログラミング教育が必修化されたことを受け、「**プログラミング教育**」科目を開設しています。
- ダンスの指導ができる教員や保育士の育成を主な目的として、ダンスレッスンやダンス作品創作のための技術を学べる科目を新設しました。
- 星槎大学(通信制課程)との大学間連携により、「**特別支援学校教諭一種免許状**」の取得が可能になりました。

4年間の学びの流れ



取得できる免許・資格

- 小学校教諭一種免許状
 - 幼稚園教諭一種免許状
 - 保育士資格
 - 中学校教諭二種免許状(英語)
 - 学校図書館司書教諭資格
 - 社会福祉主任任用資格
 - 児童指導員任用資格
 - レクリエーション・インストラクター資格
 - スポーツ・レクリエーション指導者資格
 - 認定給本土資格
 - 小学校英語指導者[四国大学認定資格]
 - 食育スペシャリスト[四国大学認定資格]
 - 特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)
- ※ 小学校教諭一種免許状または幼稚園教諭一種免許状の取得及び星槎大学(通信制課程)での科目履修が必要。

健康栄養学科

食と健康に関する専門知識を身に付け、保健・医療・福祉・教育など多様な分野において社会で活躍し、トータルヘルスに貢献する管理栄養士を養成します。

Change!

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

健康栄養学科では、管理栄養士に期待される活躍の場を想定し、食と健康に関連した栄養マネジメント、スポーツ栄養、フードデザインの3コースを設定し、特色ある学びを展開します。講義や実験・実習ではグループごとにディスカッションを行い、協力しながら結果を導き出すアクティブラーニングを実践することで協調性やコミュニケーション能力、問題解決能力を培います。また、国家試験合格を目指した少人数教育や年間複数回行う学科独自の模擬試験により基礎能力の向上につなげます。

ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

食と健康に関する専門知識が高校卒業時の学力から積み重ねられるよう、学年ごとに体系立てたカリキュラムを組んでいます。基礎科目からはじまり、学年が進むと応用力・実践力が身に付く科目を履修します。

- 1年次では、全学共通科目で社会人基礎力や人間・社会関係力を養いつつ、4年間の学修の基盤となる基礎教育科目を学ぶとともに、食と健康に関する基礎学力を身に付けます。
- 2年次では、食と健康に関する専門知識を高め、コース別に将来の目標に沿った専門性を身に付けることにより、専門職に必要な資質を高めます。
- 3年次では、各コースの専門性を深めるとともに臨地実習等を通じて専門職に必要な体験と知識の応用力・実践力を身に付けます。
- 4年次では、各コースの専門性を卒業研究等につなげ、発展させることにより、食と健康に関連する多様な分野で社会に貢献できる管理栄養士としての総合力を身に付けます。

学びの特色ある取組

- 教育内容や学生の習熟度に合わせて講義、演習、実験・実習の科目を組み合わせ、段階的、体系的な教育を行います。特に、臨地・校外実習では学内指導教員と臨地指導者から助言・指導を受けながら学修を深めます。
- 科目間の関連性や学習内容の順序性を表したカリキュラムマップを作成し、学習内容を系統立てて理解し、学生自らが学修の振り返りができるようにしています。
- 複数の専門科目にまたがって思考・判断する力及び、問題解決力を身に付けるため、3・4年次に総合演習の科目を設けて総合力を育成し、国家試験受験対策としての講座や模擬試験等を実施します。
- **栄養マネジメントコース**では、人々の健康づくりをサポートするため、健康と疾病の予防・治療を目的とした食育や栄養マネジメントについて学びます。
- **スポーツ栄養コース**では、運動や競技スポーツの栄養管理に活用するため、スポーツ・身体活動から健康を考え、栄養が運動パフォーマンスに与える影響を学びます。
- **フードデザインコース**では、商品・食品開発やフードコーディネーターを目指し、食品の機能性や品質管理、マーケティングを学びます。



4年間の学びの流れ



取得できる免許・資格

- 栄養士免許
- 管理栄養士国家試験受験資格
- 食品衛生管理者任用資格及び食品衛生監視員任用資格
- 栄養教諭一種免許状
- 食育スペシャリスト[四国大学認定資格]
- スポーツ栄養管理者[四国大学認定資格]



看護学部

Faculty of Nursing

□看護学科

看護に関する専門的な知識と技術に基づいた実践能力とともに
思いやりや豊かな人間性を備えた「やさしくて賢い」看護職の育成を目指します。

Change!

改革の
ポイント

**生命の尊厳や個人の権利等を理解し、
感性豊かで倫理観に富み、保健・医療・福祉の分野に
貢献するための基盤創りを目指します。**

1. ディプロマ・ポリシーを達成するためのカリキュラム

知識・技術とともに人間力を身に付けるために、専門的な学びと並行して教養を深め、思考力や判断力を養います。また、すべての場面に対応できる看護力を豊富な授業科目や演習、ゼミナールを通して養います。

2. 社会が求める内容に則したカリキュラム

日々変化発展する臨床現場の中で、生涯にわたって学び続けるための自己教育力を育成するため、社会で生じている課題に気づき、さまざまな状況の人々を理解する力や幅広い視野で思考できる力を育成します。

3. キャリア教育を重視したカリキュラム

入学直後のオリエンテーションから卒業までの間、学生が自らの将来設計を立て、その内容をポートフォリオに記録して、計画的にキャリアを積み重ねられるようにしています。

4. 学生の理解が進む教育内容・方法

学生自身が立てた目標に主体的に取り組むためのルーブリック評価やアクティブラーニングを活用した高機能シミュレーターモデル人形を用いるなどの教育方法を取り入れ、各授業では振り返りシートを用いて学生の学修状況を確認しています。

看護学科

「看護」は人の健康レベルを高めることを目的とし、
「環境」と「人間」の双方に働きかける営みと捉え、看護を実践するための
専門的な知識・技術、系統的な思考力及び豊かな人間性を身に付けます。

Change!

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

- 四国大学スタンダード(社会人基礎力、自己教育力、人間・社会関係力)を土台に看護師として自立できるように、1年次から講義、演習、実習のすべての段階で、事前学習、主体的な実践、実践後のリフレクションと事後学習を取り入れます。
- 講義、演習科目の多くにアクティブラーニングを取り入れ、生涯学び続け、主体的に考えられる力を身に付けられるように計画、実施しています。
- 臨地実習では、基礎看護技術の経験状況と到達段階を自己評価できるよう、共通の看護技術体験記録へ記入し、臨地実習に関わる教員の誰もが確認できるようにポートフォリオを活用して、学生と学びを共有します。

ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

- 1年次では、看護学を学ぶうえで必要な人間と健康に係る基礎知識と看護の基本技術を身に付けます。
- 2年次は、看護に必要な基礎的知識・技術を修得するために、専門基礎科目を学修し、健康の保持・増進に関する知識と技術を学びます。
- 3年次では、領域別看護学実習において看護の専門性を探究し、各専門領域における看護の知識と技術を修得します。
- 4年間で修得した専門的な知識・技術・思考力とプレゼンテーション力や自己教育力を統合させ、看護者としての専門性と自立性を養うとともに、看護学を生涯学習の視点で捉え社会に貢献できる力を身に付けます。



学びの特色ある取組

看護に必要な基礎的知識・技術の修得だけでなく、生涯にわたって学び続けられるための自己教育力の育成のため、幅広い視野で思考できる力やさまざまな状況の人々を理解する力、社会や自然を理解する力の育成を目指し、学生のニーズに沿って、次の取り組みを実践します。

- ① オーストラリアのサザンクイーンズランド大学への国際看護研修によって国際的な視点で対象者を理解する力を養います。
- ② 看護の学修を活かしたボランティア活動を実践します(スポーツ看護ボランティアや災害看護ボランティア)。
- ③ 徳島の地を理解するために地域で暮らす人々と関わりを持ち、地域に根ざした看護について考えます。

4年間の学びの流れ



取得できる
免許・資格

● 看護師国家試験受験資格
○ 保健師国家試験受験資格
[選択履修者25名程度]

○ 助産師国家試験受験資格 [選択履修者5名以内]
○ 養護教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状(看護) [選択履修者各20名程度]
※ただし、○3つのうちいずれか1つの取得になります。

ビジネス・コミュニケーション科

社会・組織で良好な人間関係を築き、連携協働し、課題を解決するためのコミュニケーション能力を培い、専門知識や技能の習得を通して、実社会で即戦力となるビジネス実務能力を身に付けた人材を育成します。

Change!

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

- 社会人としての基礎力を養うとともにビジネス関連資格だけでなく、学生がより広い視野を持つことができるよう、ビジネス・コミュニケーションに関連した科目を体系化し主体的な学びの機会を提供しています。
- アクティブラーニングを駆使した授業を通して、学生が主体的に学びに参画し、さまざまな視点から考察と対話を繰り返すことで、自らが課題と向き合い探究する力と新しいアイデアを創造する力を育みます。
- キャリア教育に関連した科目では、一人ひとりが2年間の学びの到達目標を定めるとともに自由で柔軟なキャリアデザインを描くことができるようにサポートします。



ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

- フィールドワークを中心とした「地域教育」を学科の基礎教育と位置づけ、2年間で全員が地域活動に参画する機会を設けます。
- 知識や技能の習得を目指す座学や自主学習とフィールドワーク、アクティブラーニングによる協働学習の実践により、学生同士が学び合いながら計画力や実行力、コミュニケーション力の向上を目指します。
- ビジネススキルのレベルアップを目指し、上級のビジネス関連資格や国家技能士検定試験に対応した科目を充実させ、知識と技術の専門性を高めます。

学びの特色ある取組

- 多彩なフィールドワークを通して地域が抱える課題を発見し、その解決のための提案を立案する過程で情報の利活用やチームでの協働作業を実践的に体得します。
- 少人数教育によるきめ細かな指導により、学習指導や進路選択、就職活動のサポートまで学生一人ひとりの状況に応じ、学生生活が充実するよう指導を行います。
- ビジネスの各分野で必要とされる実務能力とホスピタリティマインドを身に付けるため、入学直後から就職内定までのプロセスにおいて、キャリア教育や検定対策に直結した授業を組み込み、地域社会や企業が求める人材の輩出に努めています。
- 公務員試験対策として「公務員採用試験対策特別講座」(CCP/Career Cultivation Program)を開講し、入学直後から公務員試験合格まで充実したサポートを行います。

2年間の学びの流れ



取得をサポートしている検定

- FP技能検定
- 知的財産管理技能検定
- ビジネス能力検定ジョブパス
- 医療事務技能審査試験(メディカルクラーク)
- 日商PC検定(文書作成・データ活用)
- MOS
- 日商簿記検定
- 調剤報酬請求事務技能認定

短期大学部

Junior College

- ビジネス・コミュニケーション科
- 人間健康科 食物栄養専攻/介護福祉専攻
- 幼児教育保育科
- 音楽科

専門に関する知識・技術だけでなく、コミュニケーション能力など社会人として必要な素養と豊かな人間性を身に付け、地域に貢献できる人材を育成します。

Change!

改革のポイント

アクティブラーニングやグループワークの機会を多く取り入れることで課題を探究し、協働して解決する力を育てます。

1. ディプロマ・ポリシーを達成するためのカリキュラム

アクティブラーニング、グループワークを多く取り入れ、社会人としての基礎力を身に付けたうえで、社会人として自立するために必要な専門性を効率的に身に付けることができるカリキュラムを提供します。

2. 社会が求める内容に則したカリキュラム

地域の人々との積極的な交流を通して、地域に対する学びを深め、地域の課題を発見し、課題解決に向けて取り組むことで、地域に貢献できる力を身に付けることができるカリキュラムを提供します。

3. キャリア教育を重視したカリキュラム

フィールドワークやアクティブラーニングを中心とした実践的な協働学習を続けることにより、社会で必要とされる計画力、実行力、コミュニケーション力を身に付けることができるカリキュラムを提供します。

4. 学生の理解が進む教育内容・方法

一人ひとりの学生が目指す将来の目標や資格取得を実現するため、効果的な学習ができる厳選されたカリキュラムとなっています。また、少人数制のゼミや卒業研究などにより、2年間にわたって学生をサポートする体制を整えています。

人間健康科 介護福祉専攻

介護や福祉の倫理観や専門的知識・技術を身に付け、介護福祉士として、高齢の方や障がいのある方に寄り添いながら、介護・福祉・医療の現場や地域で貢献し、超高齢社会を担う人材を育成します。

Change! /

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

- 社会のニーズに対応した教育によって、生涯にわたって学び続ける意欲を持ち、社会人として自立するための基礎能力を育成します。
- 一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育て、キャリア形成を促す教育を実現します。
- 建学の精神「全人的自立」に向けてそれぞれの人生観や職業観を培い、将来、自らの力で課題を解決しながら人生を歩む力身に付けるカリキュラムを編成しています。

ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

- 社会人としてのマナーとともに、利用者本位の介護実践に必要な専門知識・技術を身に付けます。
- 介護福祉士として、利用者の課題を解決するとともに、総合的に支援する力を身に付けます。
- 介護や社会福祉、社会保障に関する制度や施策を理解し、利用者の生活を支援するための情報を活用する力を身に付けます。
- 利用者や家族の気持ちを理解し、人権擁護・職業倫理の視点に基づいたコミュニケーション力を身に付けます。
- 地域社会の中で、多様な介護ニーズに応えられる指導力と調整能力を身に付けます。

学びの特色ある取組

- 「人間と社会」「介護」「心とからだのしくみを含む医療的ケア」の3領域の学習によって、介護福祉の基盤となる人の尊厳や倫理観を深く学び、人権を重んじるとともに、エビデンスに基づいた科学的な介護を実践できる授業を展開します。
- 学生の理解度に合わせた講義・演習・実習を組み合わせ、各人の到達目標に沿った学修を目指します。
- アクティブラーニング形式の授業展開を推進し、学生の積極性や主体性を引き出します。
- カリキュラムの全体像を可視化し、学習の順序や科目間の関連等を理解できるカリキュラムマップを作成することで、学習効果の向上を図ります。
- 自己教育力シートの活用等を通して、学生とチューター間のコミュニケーションを図り、一人ひとりに応じた指導により学習意欲の向上につなげます。



2年間の学びの流れ



取得できる
免許・資格

- 介護福祉士国家試験受験資格
- 社会福祉主事任用資格
- 医療的ケア基本研修修了証明書
- 食育指導士

人間健康科 食物栄養専攻

人々の健康を支援するための食品や栄養に関する知識・技術を身に付け、食を通じて、協働して地域社会に貢献できる力を養います。

Change! /

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

- 協働作業が求められる実験や実習が多く、アクティブラーニングやグループワークの機会を設けています。また、フィールドワークを通して積極的に他者と関わり、協働して課題を解決する力を養います。
- 食品関連企業の人事担当者や給食施設で働く栄養士・管理栄養士を講師に招いた講義・演習を開講し、それぞれに求められる人材像や地域での課題を学びます。



ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

- 地域の食品関連企業で求められる人材や時代に求められる栄養士を養成するとともに、栄養士実力認定試験にも対応できるよう、教育内容の点検を行い、効果的な学習となるよう科目間の連携を強化しました。関連した科目間で復習しながら学びを進めることで、基礎的専門知識や技能を修得できます。
- 卒業研究でのフィールドワークなどを通して地域の課題を発見し、継続的に課題に取り組むことで課題解決に必要な方法を学びます。



学びの特色ある取組

- 地域の栄養の課題に向き合う管理栄養士・栄養士や地域経済に貢献する食品産業関係者を講師に招き、学生にとって必要な技術・知識のほか課題に取り組む姿勢について直接学びます。
- 卒業研究では、食と健康に対する地域課題の解決を目指して、1年間を通じて課題に取り組み、その成果をポスターと口頭で発表します。卒業研究の取り組みには、地元企業や地域社会から提供される課題に触れるとともに食品関連企業と共同で商品開発などを行います。地域の食と栄養に関する課題を知るとともに地域産業の活性化につながる取り組みを進めています。

2年間の学びの流れ



取得できる
免許・資格

- 栄養士免許
- 食品衛生管理者任用資格及び食品衛生監視員任用資格
- フードサイエンティスト[食品科学教育協議会認定]
- 食生活アドバイザー
- 食育指導士

音楽科

音楽の専門知識・技術の習得を通じて、豊かな感性と潤いのある生活を創造し、現代の音楽環境に敏感に適応できる能力を持った人材を育成します。

Change! /

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

- 1年次では、音楽の基礎理論を学修するとともに、個人指導による実技科目により高い技術力を身に付けます。
- 2年次では、個人指導やキャリア教育を通じて高度な表現力を身に付けるとともに、実社会で活躍できる力を修得します。また、演奏会やライブの企画、運営、実施に携わる中で、問題解決能力やコミュニケーション力を高めます。

ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

- 実技系の科目で音楽に関する専門知識・演奏技術を習得し、さまざまな演奏機会を通じて自己表現する力を養います。
- 音響・照明、音楽指導法などの授業で、経験と論理的思考力に基づき、自ら課題を発見し解決できる力を身に付けます。
- アンサンブルや音楽制作に関する授業を通じて、他者の個性を認め協働する中で、音楽的感性を磨き、音楽を通じて生きる力を養います。

学びの特色ある取組

- 音楽理論を始め声楽や器楽の基礎を学ぶとともに確かな技術を身に付けます。
- さまざまなDTM関連ソフトを揃えた「音楽制作ラボ」で、音楽制作やDTMに関する知識と技術を身に付けます。
- 最新の設備を備えた「ライブ演習室」や「レコーディングスタジオ」で、音響・照明のプランニング及びその操作、デジタル録音、動画編集など音楽に関する総合的な仕事を身に付けます。

2年間の学びの流れ



取得できる
免許・資格

- 音楽療法士(2種)
- 音楽インストラクター [四国大学短期大学部認定資格]

幼児教育保育科

豊かな人間性を基盤とし、「保育施設のグローバル化」「インクルーシブ保育の実現」という新しい時代のニーズに応えるべく、保育者としての高い専門性に加え、確かな英語力や特別支援教育に関わる知識・技能を備えた「優れた人材」を育成します。

Change! /

カリキュラム改革のポイント

社会人として自立に必要な基礎能力とキャリア形成

- 1年次は、社会人基礎力や人間・社会関係を養いつつ、保育者として必要な保育・教育に関する基礎理論や技術を身に付けるとともに、観察・参加実習を通じて保育の実際を体験します。
- 2年次は、保育の内容・方法の専門的な知識や技能を高めるとともに、保育を取り巻く環境について理解を深め、保育・教育実習を通じて保育に係る総合的な実践力を修得します。
- 講義や演習は学習効果を高めるため、アクティブラーニングやグループワークなどを導入しています。実習等を通じて保育の実際を体験的に学び、事後省察やポートフォリオを通じて、実践力を深めます。

ディプロマ・ポリシーを達成するための専門的な知識と技術

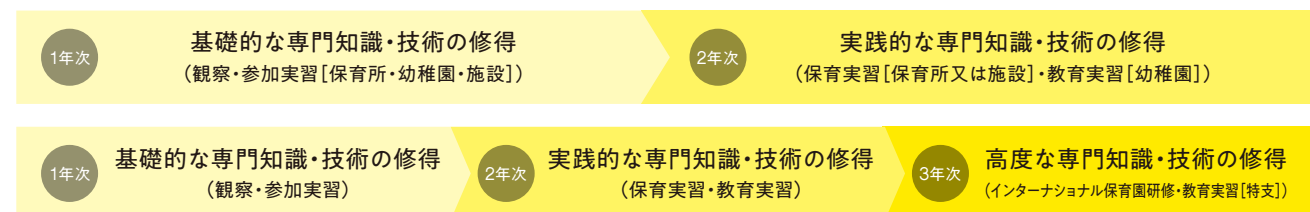
- 社会人として自立するために必要な基礎力や自己の向上のために絶えず努力する力を身に付けます。
- 豊かな人間性と高い専門性を備えた保育者として、社会に貢献し、活躍できる力を身に付けます。
- 乳幼児の発達段階や取り巻く環境を理解し、子どもの個性に応じた指導力を身に付けます。
- 保育者としての倫理観、価値観及び使命感に則り、自らの保育実践を省察できる力を身に付けます。

学びの特色ある取組

- 1年次前期終了時に3年間の長期履修コース(国際保育者養成プログラム・特別支援学校教諭免許取得プログラム)を受講するかの選択ができます。
 - ①国際保育者養成プログラムは、英語力の向上を図り「幼児教育・保育英語検定二級」の取得を目指します。
 - ②特別支援学校教諭免許取得プログラムは、特別支援教育に係る知識・技能を修得し「特別支援学校教諭二種免許状」の取得を目指します。なお、プログラムは同時受講可能です。
- 国際保育者養成プログラムでは、海外保育研修(フィリピンのサンカルロス大学)を通じて、国外の幼児教育や障がい児保育に触れ、知識と視野を拓けます。
- 社会人経験を有する学生と現役学生が集うことで、学びの相乗効果が生まれています。



2年間または3年間の学びの流れ



取得できる
免許・資格

- 幼稚園教諭二種免許状
 - 保育士資格
 - 社会福祉主事任用資格
 - 児童厚生二級指導員
 - ピアヘルパー
 - 食育指導士
 - 初級保育カウンセラー [四国大学短期大学部認定資格]
 - 初級こども健康指導員 [四国大学短期大学部認定資格]
 - 初級キッズダンス・インストラクター [四国大学短期大学部認定資格]
 - 初級キッズヨガ・インストラクター [四国大学短期大学部認定資格]
- 長期履修コース(3年)
- 特別支援学校教諭二種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者) ※幼稚園教諭二種免許状の取得及び星槎大学(通信制課程)での科目履修が必要
 - 幼児教育・保育英語検定

地域教育

地域創生を担う若い世代が「地域に貢献できる人財」として、将来、地域社会で活躍できるよう「地域教育」を体系的に整え、学生が積極的に課外活動に取り組めるようにしています。



●地域教育プログラムの流れ

地域教育プログラムは、「全学共通科目」の地域連携科目と学生の主体的活動を基にした「自由科目」、地域志向型の「専門科目」などで構成されており、それぞれの内容がつながりをもって新しい地域教育を目指した構成としています。



●地域に関する授業科目

自由科目として開設する「地域貢献・ボランティア活動I」、「地域貢献・ボランティア活動II」や「地域企業等研究活動」の3科目は、学内での講義や演習による授業ではなく、学生自らが在学中に学内外での社会に対する貢献活動、ボランティア活動や自らのキャリア形成、就職活動の準備に役立つ地域の企業等を研究する活動を行い、定められた時間数を積み上げることによって授業科目の学修として単位を認定するものです。

授業科目	単位数		単位の修得方法
	大学	短大	
地域貢献・ボランティア活動I	2	1	manaba courseからオンデマンドによる授業を受講し、「SUDAchi CARD(すだちカード)」を取得します。対象となる活動を60時間(短大30時間)積み重ね、活動内容や結果をレポートなどで提出し、チューターの評価を受けて単位として認定されます。「活動I」の時間が60時間(短大30時間)を超えると「活動II」の時間としてカウントされます。
地域貢献・ボランティア活動II	2	1	
地域企業等研究活動	2	1	manaba courseからオンデマンドによる授業を受講し、「SUDAchi CARD(すだちカード)」を取得します。外部の企業などで60時間(短大30時間)の地域の企業等を研究する活動を行い、活動内容や結果をレポートなどで提出し、チューターの評価を受けて単位として認定されます。

「SUDAchi CARD」と単位認定の流れ

「SUDAchi CARD」とは

「SUDAchi CARD」は「地域貢献・ボランティア活動記録I」、「地域貢献・ボランティア活動記録II」及び「地域企業等研究活動記録」が綴られており、活動を行ったことを証明するためのスタンプ押印欄がそれぞれ60個あります。「SUDAchi CARD」は、在学期間中継続して使用します。

- manaba courseから「ボランティアに関する事前学習」を受講
- 地域教育・連携センターで「SUDAchi CARD」を取得
- 活動開始 【●地域貢献・ボランティア活動I・II ●地域企業等研究活動】
- 活動時間に応じて押印取得
「自己教育シート」へ活動詳細を記入
- 活動終了後、地域教育・連携センターにて記録
【単位の修得】大学：押印×60個 短大：押印×30個
- 報告書を作成
- 活動時間に応じて単位の修得



※SUDAchi = Shikoku University Dream Achievement (四国大学夢実現)

全学的な推進組織の体制を整備し、地域課題の解決に向けたカリキュラムの充実を図り、特色ある「地域貢献型人材」を育成します。



学生が行う地域貢献・ボランティア活動は、「SUDAchi CARD」による実践の記録とともに徳島県と県内の大学、短期大学が共同で実施する「とくしまボランティアパスポート」事業に登録することにより、活動時間数に応じて「学長からの修了証」や「徳島県知事からの表彰」を受ける制度があります。

学生生活・学習支援

担当教員が学生生活や修学上のアドバイスを行うチューター制度をはじめ、ラウンジのようにリラックスして気軽に利用できる学修支援センターなど、学生の皆さんそれぞれのニーズに合わせた学生生活のサポートや学習支援サービスを行っています。

●チューター・教員サポーター

学科・専攻の学年ごとに担当の教員を配置し、学生生活のアドバイスを行うチューター制度を設けています。学生にとって身近な存在であり、修学上の問題だけでなく、学生生活についての相談も行うことができます。

チューター

チューターは、学科・専攻の教育方針に基づき、定期的及び必要に応じて学生面談を実施するとともに学科主任や関係事務局と連携を図りながら学生生活全般の指導・助言を行います。

学生のための教員サポーター

特別な支援が必要な学生には、教員サポーターが対応します。事務局等との連絡窓口となっており、チューターと連携を図りながら学生個々の問題解決に向けて支援を行います。

●学修支援センター

学生の皆さんがより充実したキャンパスライフが送れるよう、学生ラウンジをベースに学習支援や学修相談を行っています。

学生のニーズに合わせた学修支援サービス

学習・学修支援

大学の授業や認定資格取得、編入学対策など、ニーズにあわせた個別の相談や支援を行っています。

障がい学生支援

合理的配慮の提供やピアサポーター制度を通じ、学生の皆さんがキャンパスライフを快適に送れるようサポートしています。

自学自習

飲食や雑談をしながらリラックスした環境の中で自習することができます。



スタディールーム

スタディールームは「静かに」「一人で」「リラックスした雰囲気」が好きという学生のための学習スペースです。



アクセシビリティルーム

合理的配慮に関する専任のコーディネーターが常駐しています。入学前の相談にも応じています。
※合理的配慮…平成28年4月から施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づく取り組みです。学生のニーズに合わせた配慮を行い、快適なキャンパスライフが送れるよう支援します。

学生サポートプログラム

新入生を対象とした高校レベルの基礎科目を学び直すことができるプログラムです。高校と大学の学習方法や学習内容の違いなどから、授業の内容が十分に理解できない、また科目未履修などによる不安などを補い、大学でのスムーズな受講となるようサポートします。

〈実施教科〉

国語、数学、英語、化学、生物
※実施時期 4月～6月

キャリアアップ支援

●高大接続キャリアアップ支援プログラム

高等学校在学中にキャリアアップにつながる資格等を取得した人を応援し、本学に入学後さらにその能力を伸ばすことを目的に「高大接続キャリアアップ支援プログラム」を実施しています。

●入学時資格等保有奨励金制度 高校在学中に資格を取得した人に本学入学時に奨励金を給付します。

●資格対策講座 本学が開講する各種資格対策講座を受講し、検定試験を受ける際に受験料の半額を補助します。

●資格取得奨励金制度 資格を取得した人に奨励金を給付します。

2022年度 キャリアアップ支援プログラム

高等学校	入学時	大学・短期大学部
日本漢字能力検定…準2級以上 日本語検定…3級以上 実用英語技能検定…準2級以上 日商簿記検定…3級以上 全商簿記検定…1級 全経簿記検定…1級以上 全商ビジネス文書実務検定…1級 全商情報処理検定…1級 全商商業経済検定…1級 ニュース時事能力検定…準2級以上 実用数学技能検定…準2級以上 ITパスポート試験 色彩検定…3級以上 危険物取扱者試験…乙4以上 ジュニアマイスター…シルバー以上	入学時資格等保有奨励金	四国大学キャリアアップ講座 資格対策講座 日本漢字能力検定 日本語検定 実用英語技能検定 TOEIC®テスト 日商簿記検定 日商PC検定試験(データ活用、文書作成) 秘書技能検定 販売士検定 ITパスポート試験 基本情報技術者試験 色彩検定 危険物取扱者試験 検定料半額補助/資格取得奨励金 教員・公務員対策講座(大学)/公務員試験対策特別講座(短期大学部)
公務員採用一次試験合格		

※キャリアアップ講座受講生の優秀者等には同窓会からリクルートスーツのクーポン券が贈られます。

●教育・公務員対策講座

教員・公務員を目指す学生の皆さんを支援するための講座です。2年次から系統立てた学習内容で力をつけます。

講座内容

教員試験対策コース
毎週火・水曜日の5時限
2年:教養科目
3年:教職教養
4年:論作文・面接及び総まとめ

公務員試験対策コース
毎週月・火・水・金曜日の5・6時限
2年:教養科目
3年:専門科目
4年:論作文・自主選択受講

夏休み・春休みには特別講座(教養科目のまとめ)

受講料等 教材費等の実費を除き、受講料は無料

教員採用試験対策学習室

●採用試験対策学習室
場所 児童教育館 4階 U463号室
●養護教員採用試験対策学習室
場所 30周年記念館 N701・N702号室

公務員試験対策学習室

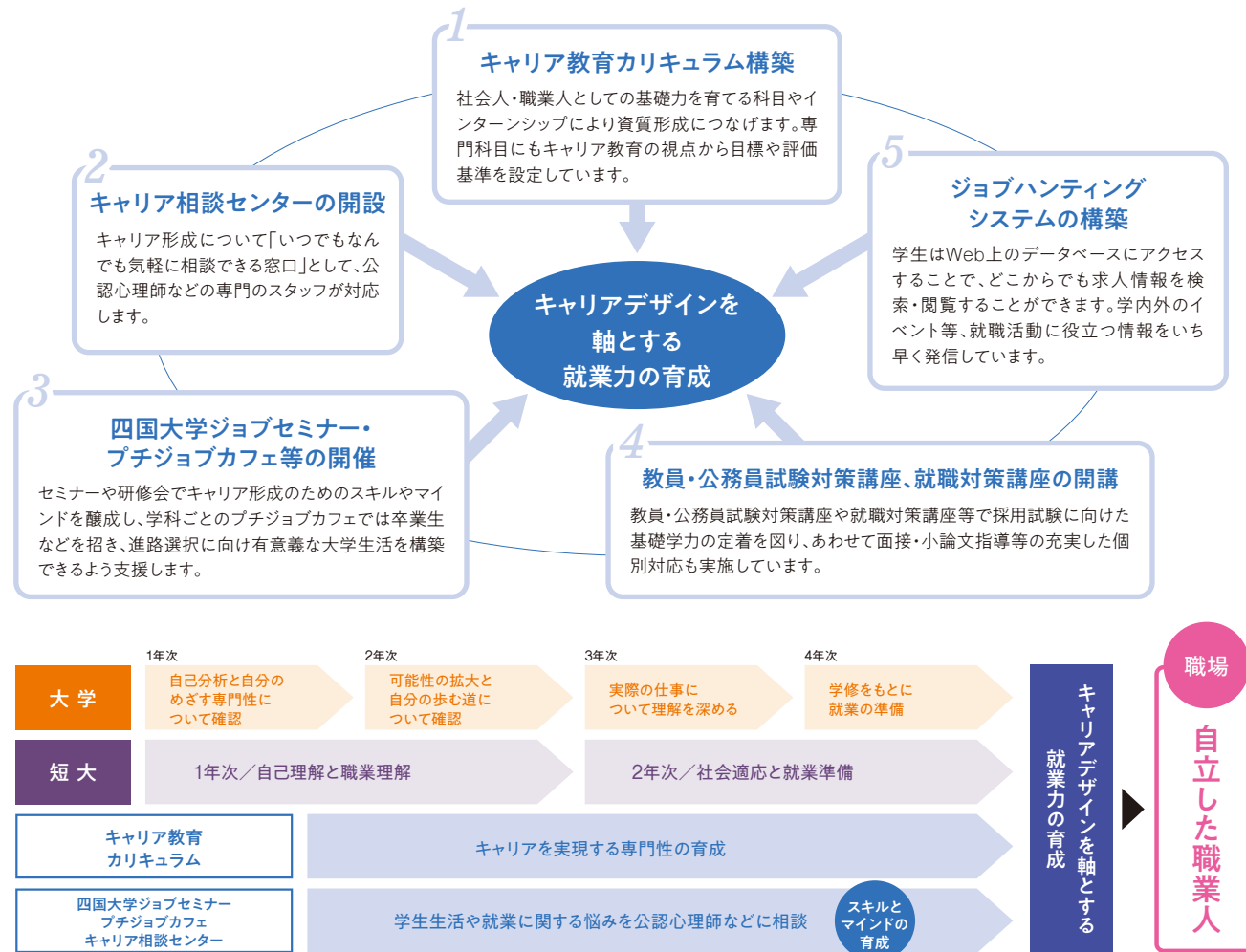
場所 経営情報館6階 P602号室
開室時間 月～金 午前9時～午後8時
利用目的 公務員試験対策の自主学習・関係図書
の閲覧 個別指導・グループ指導の受講



キャリア支援事業

建学の精神「全人的自立」のもと知識や技術の修得、人間的な成長及び社会に貢献できる実践的な力を確立することを目指し、教育研究と人材の育成に努めています。この中で、「学生が社会人・職業人として自立できる力」すなわち「就業力の育成」に焦点をあてた教育課程を編成し、キャリア教育を行っています。

●就業力育成を目標とした5つの柱



●インターンシップの推進



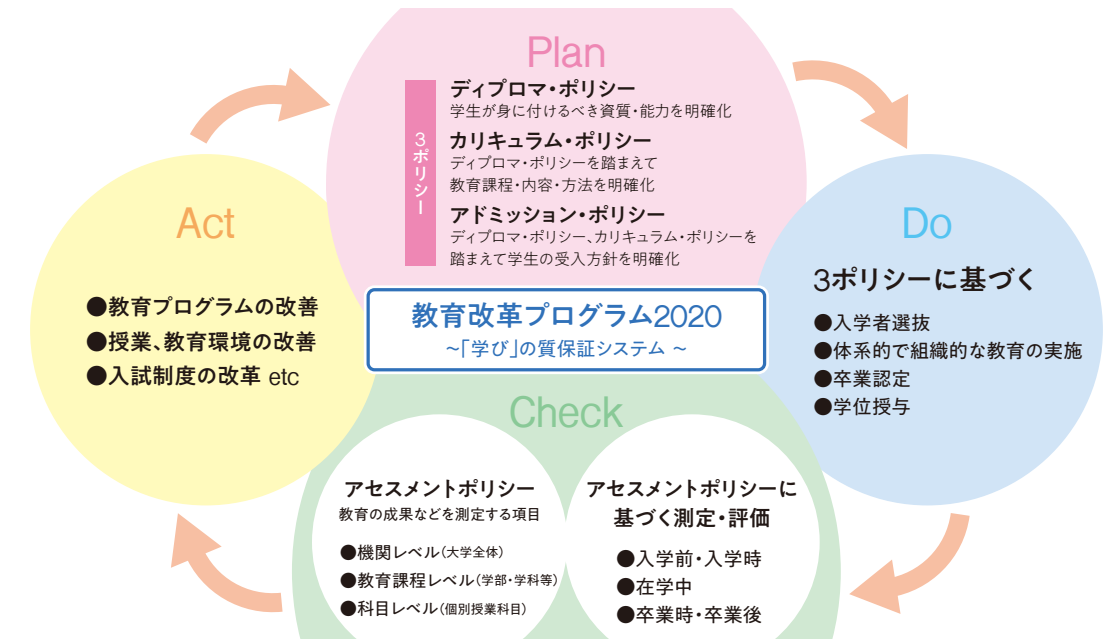
インターンシップは、企業等が学生に就業体験の場と機会を提供し、そこに学生が参加することができる制度です。インターンシップに参加することにより、

- ①興味のある職種や企業が見えてくる
- ②社会人や企業の人事担当者等とコミュニケーションをとる機会が得られる
- ③就職活動に慣れ、参加者と情報交換・収集ができる
- ④これからの学生生活するべきことが見えてくる

などの、メリットがあります。本学では、全学共通科目の「キャリア科目」に「インターンシップ」を開設し、定められた時間数インターンシップに参加した学生には、授業科目の学修として単位を認定します。

教育の評価・検証

●四国大学における教学マネジメント ～3ポリシーとアセスメントポリシーによる教育改革～



●アセスメントポリシーの策定と実施

アセスメントポリシーとは、学修成果の評価(アセスメント)について、その目的や達成すべき質的水準、具体的な実施方法などについて定めたものです。本学では、3ポリシーに基づき、機関レベル(大学全体)、教育課程レベル(学部・学科・センター)、科目レベル(個別授業科目)の3段階の基準を設け、アセスメントポリシーとして、学生の入学前から卒業後までの学修成果等の具体的な検証・評価方法を策定し、測定・評価を実施します。

四国大学アセスメントポリシーの検証・評価項目

測定時期 レベル	入学前・入学時 アドミッション・ポリシーを満たす人材かどうかの検証	在学中 (大学:3年次前期・短大:2年次前期) カリキュラム・ポリシーに則った学修となっているかの検証	卒業時・卒業後 ディプロマ・ポリシーを満たす人材となったかどうかの検証
機関レベル (大学全体)	・各種入学試験 ・調査書等の記載内容 ・面接、志願理由書等	・GPA ・修得単位数 ・課外活動状況 ・休退学率 ・学修状況調査(IR調査) ・学生満足度調査(IR調査) ・就業力育成目標達成調査 ・地域教育プログラム実施状況調査(全学共通科目・自由科目)	・卒業率 ・学位授与率 ・就職率、就職希望率 ・進学率 ・卒業生調査(IR調査) ・留学実績
教育課程レベル (学部・学科等)	・各種入学試験 ・入学生アンケート	・GPA ・成績分布状況 ・自己教育力シート(自己評価) ・学修状況調査(IR調査) ・学生満足度調査(IR調査) ・就業力育成科目目標達成調査	・GPA ・自己教育力シート(自己評価) ・免許、資格取得状況 ・単位取得状況 ・国家試験合格率 ・公務員試験合格者数 ・外部試験の成績(TOEFL、TOEIC等) ・留学実績
科目レベル (個別授業科目)	・英語プレースメントテスト	・成績評価(試験・ルーブリック) ・学外実習評価 ・自己教育力シート(自己評価) ・成績分布状況 ・学生による授業評価アンケート	

●教育評価システム

GPA(Grade Point Average)制度の評価方法は、科目の成績を4段階で評価したものにグレードポイントを付与し、その科目のグレードポイントに各授業科目の単位数を乗じて、その総和を登録科目総単位数で割って算出したものです。この数値を活用することで、学生は学修の到達状況が明確となり、各自の努力目標が具体的になるなどの効果が期待できます。

本学は、「高等教育の就学支援新制度」の対象機関として文部科学省より認定されています。当該制度の在学生への支援の可否は、成績(GPAが上位2分の1以上)及び学修状況・意欲で判断されることになっており、学部間での公平性を保つため、個別授業科目の成績評価に「絶対的相対評価システム」を導入し、標準化された評価を行うこととしています。